

埼玉県企業のメインバンク実態調査（2024 年版）

埼玉りそな銀行が 27.1%を占めトップ

～埼玉りそな、武蔵野、埼玉縣信金トップ 3 のシェアは約半数～

はじめに

アフターコロナ時代の到来を受け、金融機関の企業に対す姿勢、その役割は大きな変化が求められている。「ゼロゼロ融資」をはじめ緊急事態における資金繰り支援から、正常化した経済状況となった今は本業支援の方が重視され、国の政策スタンスも確実に変わり始めている。また、「金利のある世界」という、こちらもある意味正常な状態に市場が戻りつつある昨今、これまで長年の超低金利に慣れきってしまった事業者のなかには、金利負担への耐性に乏しい先がかなり多いとみられ、金融機関はこの先難しいかじ取りを迫られる場面も増えていくことであろう。

帝国データバンク大宮支店は、企業概要データベース「COSMOS2」（約 147 万社収録）から、埼玉県の企業（約 6 万 3300 社）がメインバンクと認識している金融機関（1 行のみ）を調べ、その数を集計した。

***なお、この数値は融資金額を基にした調査結果ではなく、県内企業への融資金額シェアを直接反映したものではない。また、一企業に複数のメインバンクがあるケースでは、各企業が最上位として認識している金融機関をメインバンクとした。**

調査結果（要旨）

1. 埼玉県内の企業約 6 万 3300 社のメインバンクで、最も数が多かったのは埼玉りそな銀行の 1 万 7131 社で構成比は 27.1%。2 位は武蔵野銀行の 7649 社で同 12.1%。3 位は埼玉縣信金の 6621 社で同 10.5%。3 行の合計は 49.6%でほぼ半数を占める
2. 業種別では、埼玉県内に本店を置く 6 つの金融機関全てがトップ 10 にランクインしたのは「建設」と「不動産」の 2 業種。3 大メガバンクは「建設」を除く 6 業種でトップ 10 入り
3. 売上規模別では、規模が小さい企業は信用金庫を、規模が大きくなるとメガバンクをメインバンクとする企業の割合が高くなる傾向に
4. 地域別では、それぞれの地域に本店を有する金融機関、また、隣接する県や沿線に多くの店舗を置いている県外の金融機関も上位にランクイン

1. 全体結果

埼玉県内の企業約 6 万 3300 社がメインバンクとして認識している金融機関 1 行（以下、信用金庫等も便宜上「行」と表す）を調べ、その数が多かった上位 20 行の一覧が下の表。

1 位は大手地域金融機関の埼玉りそな銀行で 1 万 7131 社、構成比は 27.1%。2 位は武蔵野銀行の 7649 社で同 12.1%、3 位は埼玉縣信金の 6621 社で同 10.5%となった。上位 3 行の構成比合計は 49.6%となり、埼玉県企業のメインバンクはこの 3 行でほぼ半数を占める結果となった。また、いわゆる 3 大メガバンクのみずほ銀行、三菱UFJ 銀行、三井住友銀行がそれぞれ 4 位、5 位、7 位にランクインした一方、県内外の信用金庫が半分を占めた。上位 20 行をメインバンクと認識する県内企業は合計 5 万 6747 社、構成比 89.6%と全体のほぼ 9 割にのぼった。

上位 20 行の本店所在地を都府県別でみると、埼玉県が 6 行、群馬県と栃木県がそれぞれ 2 行、大阪府が 1 行で、それ以外の 9 行はすべて東京都となり、埼玉県に近い神奈川県、千葉県、茨城県に本店を置く金融機関は上位 20 行には入らなかった。

埼玉県内企業のメインバンク上位20行

順位	金融機関名	本店所在地	社数	構成比 (%)	順位	金融機関名	本店所在地	社数	構成比 (%)
1	埼玉りそな	さいたま市浦和区	17,131	27.1%	11	青木信金	埼玉県川口市	1,662	2.6%
2	武蔵野	さいたま市大宮区	7,649	12.1%	12	群馬	群馬県前橋市	1,606	2.5%
3	埼玉縣信金	埼玉県熊谷市	6,621	10.5%	13	足利	栃木県宇都宮市	1,261	2.0%
4	みずほ	東京都千代田区	2,850	4.5%	14	栃木	栃木県宇都宮市	1,100	1.7%
5	三菱UFJ	東京都千代田区	2,800	4.4%	15	巢鴨信金	東京都豊島区	1,048	1.7%
6	飯能信金	埼玉県飯能市	2,236	3.5%	16	亀有信金	東京都葛飾区	678	1.1%
7	三井住友	東京都千代田区	2,197	3.5%	17	瀧野川信金	東京都北区	664	1.0%
8	川口信金	埼玉県川口市	2,132	3.4%	18	青梅信金	東京都青梅市	520	0.8%
9	城北信金	東京都荒川区	1,899	3.0%	19	りそな	大阪市中央区	481	0.8%
10	東和	群馬県前橋市	1,803	2.8%	20	東京信金	東京都豊島区	409	0.6%
上位20行合計								56,747	89.6%

2. 業種別

業種別でみた上位 10 行を集計したものが次頁の表（その他の業種に属する企業を除く）。

いずれの業種においてもトップは埼玉りそな銀行、2 位は同じく全てで武蔵野銀行、3 位も同じく全てにおいて埼玉縣信金となり、この 3 行の構成比は業種別でみても他を大きく上回っている。4 位は「建設」と「不動産」が飯能信金となり、それ以外の業種ではメガバンクが入った。5 位は「建設」が川口信金となった以外、こちらもメガバンクがいずれの業種においてもランクインした。

県内に本店を置く 6 つの金融機関全てがトップ 10 にランクインしたのは、「建設」と「不動産」の 2 業種。他の業種ではメガバンクを中心に県外の金融機関が多くランクインしており、県内の金融機関と熾烈な競争を繰り広げている様子がうかがえる。3 大メガバンクは「建設」を除く 6 業

種でそれぞれがトップ 10 入り、メガバンク以外の県外勢でみると、群馬県の東和銀行が 7 業種中 5 業種、群馬銀行が 4 業種、東京都の城北信金が 7 業種中 4 業種でランクインした。

いずれの業種でもトップであった埼玉りそな銀行は、とりわけ「サービス」の構成比が高く、その比率は 3 割を超えた。

業 種 別															
建設				製造				卸売				小売			
順位	金融機関名	社数	構成比 (%)	順位	金融機関名	社数	構成比 (%)	順位	金融機関名	社数	構成比 (%)	順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	埼玉りそな	5,921	26.6%	1	埼玉りそな	1,745	20.6%	1	埼玉りそな	1,586	26.2%	1	埼玉りそな	1,520	28.7%
2	武蔵野	2,858	12.8%	2	武蔵野	963	11.4%	2	武蔵野	752	12.4%	2	武蔵野	659	12.4%
3	埼玉縣信金	2,853	12.8%	3	埼玉縣信金	785	9.3%	3	埼玉縣信金	504	8.3%	3	埼玉縣信金	654	12.3%
4	飯能信金	1,003	4.5%	4	みずほ	487	5.8%	4	三菱UFJ	469	7.8%	4	みずほ	220	4.2%
5	川口信金	964	4.3%	5	三菱UFJ	486	5.7%	5	みずほ	439	7.3%	5	三菱UFJ	217	4.1%
6	城北信金	865	3.9%	6	城北信金	392	4.6%	6	三井住友	308	5.1%	6	東和	214	4.0%
7	青木信金	776	3.5%	7	川口信金	366	4.3%	7	川口信金	200	3.3%	7	飯能信金	207	3.9%
8	三菱UFJ	750	3.4%	8	三井住友	327	3.9%	8	城北信金	184	3.0%	8	三井住友	175	3.3%
9	みずほ	746	3.3%	9	青木信金	251	3.0%	9	群馬	172	2.8%	9	群馬	157	3.0%
10	東和	714	3.2%	10	巢鴨信金	250	3.0%	10	飯能信金	156	2.6%	10	川口信金	144	2.7%
建設業合計		22,274	-	製造業合計		8,461	-	卸売業合計		6,049	-	小売業合計		5,299	-

不動産				運輸・通信				サービス			
順位	金融機関名	社数	構成比 (%)	順位	金融機関名	社数	構成比 (%)	順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	埼玉りそな	1,370	29.8%	1	埼玉りそな	531	22.1%	1	埼玉りそな	4,209	31.4%
2	武蔵野	563	12.2%	2	武蔵野	346	14.4%	2	武蔵野	1,417	10.6%
3	埼玉縣信金	463	10.1%	3	埼玉縣信金	229	9.5%	3	埼玉縣信金	1,079	8.0%
4	飯能信金	203	4.4%	4	三井住友	131	5.4%	4	みずほ	639	4.8%
5	みずほ	193	4.2%	5	三菱UFJ	108	4.5%	5	三菱UFJ	571	4.3%
6	三菱UFJ	175	3.8%	6	みずほ	97	4.0%	6	三井住友	499	3.7%
7	青木信金	161	3.5%	7	群馬	88	3.7%	7	群馬	370	2.8%
8	三井住友	139	3.0%	8	足利	82	3.4%	8	飯能信金	339	2.5%
9	川口信金	124	2.7%	9	城北信金	81	3.4%	9	東和	284	2.1%
10	東和	120	2.6%	10	東和	78	3.2%	10	川口信金	248	1.8%
不動産業合計		4,598	-	運輸・通信業合計		2,406	-	サービス業合計		13,406	-

3. 売上規模別

売り上げ規模別に上位 10 行を集計したのが次頁の表（最新売り上げ数値の判明しない企業を除く）。

こちらでも埼玉りそな銀行が全ての売り上げ規模でトップとなった。2 位は最小カテゴリーである「5000 万円未満」、それに次ぐ「5000 万円以上 1 億円未満」で埼玉縣信金が入り、最も大きいカテゴリーの「50 億円以上」はメガバンクのみずほ銀行、それ以外の 3 つのカテゴリーでは武蔵野銀行が入った。

規模の小さいカテゴリーでは比較的信用金庫のランクインが目立つ一方、規模の大きいカテゴリーでは三大メガバンクが上位に来ており、規模別の特徴は明確に表れているといえる。

県内 6 つの金融機関全てがトップ 10 にランクインしたのは「5000 万円以上 1 億円未満」のみ。県外勢としては、東和銀行と城北信金が 6 つのカテゴリーのうちそれぞれ 4 つ、群馬銀行と足利銀行はそれぞれ 3 つランクインした。3 つランクインの群馬銀行と足利銀行は、ともに「5 億円以上 10 億円未満」「10 億円以上 50 億円未満」「50 億円以上」のカテゴリーに入った。

売 上 規 模 別

5000万円未満				5000万円以上1億円未満				1億円以上5億円未満			
順位	金融機関名	社数	構成比 (%)	順位	金融機関名	社数	構成比 (%)	順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	埼玉りそな	6,345	27.4%	1	埼玉りそな	2,983	25.6%	1	埼玉りそな	5,120	26.0%
2	埼玉縣信金	2,686	11.6%	2	埼玉縣信金	1,367	11.7%	2	武蔵野	2,629	13.3%
3	武蔵野	2,540	11.0%	3	武蔵野	1,363	11.7%	3	埼玉縣信金	2,034	10.3%
4	飯能信金	989	4.3%	4	川口信金	453	3.9%	4	みずほ	809	4.1%
5	三菱UFJ	987	4.3%	5	みずほ	447	3.8%	5	三菱UFJ	761	3.9%
6	みずほ	960	4.1%	6	三菱UFJ	441	3.8%	6	川口信金	704	3.6%
7	川口信金	811	3.5%	7	飯能信金	438	3.8%	7	城北信金	676	3.4%
8	三井住友	715	3.1%	8	城北信金	418	3.6%	8	三井住友	670	3.4%
9	東和	710	3.1%	9	青木信金	361	3.1%	9	飯能信金	636	3.2%
10	城北信金	648	2.8%	10	三井住友	360	3.1%	10	東和	573	2.9%
5000万円未満合計		23,168	-	5000万円以上1億円未満合計		11,640	-	1億円以上5億円未満合計		19,725	-

5億円以上10億円未満				10億円以上50億円未満				50億円以上			
順位	金融機関名	社数	構成比 (%)	順位	金融機関名	社数	構成比 (%)	順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	埼玉りそな	1,138	29.6%	1	埼玉りそな	1,168	33.2%	1	埼玉りそな	265	30.4%
2	武蔵野	601	15.6%	2	武蔵野	405	11.5%	2	みずほ	130	14.9%
3	埼玉縣信金	289	7.5%	3	みずほ	293	8.3%	3	三菱UFJ	109	12.5%
4	三菱UFJ	203	5.3%	4	三菱UFJ	288	8.2%	4	三井住友	85	9.7%
5	みずほ	197	5.1%	5	三井住友	215	6.1%	5	武蔵野	69	7.9%
6	群馬	174	4.5%	6	埼玉縣信金	196	5.6%	6	りそな	20	2.3%
7	三井住友	141	3.7%	7	群馬	141	4.0%	7	群馬	17	1.9%
8	足利	112	2.9%	8	足利	103	2.9%	8	埼玉縣信金	14	1.6%
9	城北信金	101	2.6%	9	東和	69	2.0%	8	東和	14	1.6%
10	川口信金	97	2.5%	10	飯能信金	68	1.9%	10	足利	9	1.0%
5億円以上10億円未満合計		3,851	-	10億円以上50億円未満合計		3,517	-	50億円以上合計		873	-

4. 地域別

最後に、地域別に上位 10 行を集計したものが次頁の表である。

こちらも埼玉りそな銀行が全ての地域でトップとなり、次いで、「東部」「北部」において埼玉縣信金が、「西部」「南部」において武蔵野銀行が 2 位に入った。

それぞれの地域でみると、まず「東部」では、東武線沿線に店舗を多く置いている栃木銀行が 4 位、東京都葛飾区に本店を置く亀有信金が 7 位にランクインした。「西部」は、飯能市に本店を置き、埼玉県西部地区に営業網を築いている飯能信金が 3 位、また、東京都青梅市に本店を置く青梅信金が 9 位に入った。

県内で最も競争が激しいとされる「南部」は、川口市に本店を置く川口信金が 4 位、同じく本店が川口市の青木信金が 5 位。また、県外勢として東京都内に本店を置く城北信金、巣鴨信金の 2 つの信用金庫もランクインした。「北部」では、熊谷市に本店を置く埼玉縣信金が 2 位に。また、群馬県に本店を置く群馬銀行が 4 位、東和銀行が 6 位、栃木県に本店を置く足利銀行が 5 位に入った。このほか、熊谷市に本店を置く熊谷商工信組が 7 位、本庄市内に本店を置く埼玉信組が 8 位に入るなど、地域性がよく表れている。

地 域 別

東部				西部				南部				北部			
順位	金融機関名	社数	構成比 (%)	順位	金融機関名	社数	構成比 (%)	順位	金融機関名	社数	構成比 (%)	順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	埼玉りそな	3,729	26.9%	1	埼玉りそな	4,622	25.4%	1	埼玉りそな	5,388	24.9%	1	埼玉りそな	3,392	35.5%
2	埼玉縣信金	1,467	10.6%	2	武蔵野	2,366	13.0%	2	武蔵野	2,900	13.4%	2	埼玉縣信金	1,156	12.1%
3	武蔵野	1,345	9.7%	3	飯能信金	2,181	12.0%	3	埼玉縣信金	1,997	9.2%	3	武蔵野	1,038	10.9%
4	栃木	980	7.1%	4	埼玉縣信金	2,001	11.0%	4	川口信金	1,458	6.7%	4	群馬	1,030	10.8%
5	城北信金	819	5.9%	5	三菱UFJ	1,027	5.6%	5	青木信金	1,430	6.6%	5	足利	618	6.5%
6	三菱UFJ	745	5.4%	6	三井住友	893	4.9%	6	みずほ	1,177	5.4%	6	東和	596	6.2%
7	亀有信金	674	4.9%	7	みずほ	884	4.9%	7	城北信金	1,043	4.8%	7	熊谷商工信組	201	2.1%
8	みずほ	654	4.7%	8	東和	669	3.7%	8	三菱UFJ	963	4.4%	8	埼玉信組	193	2.0%
9	三井住友	456	3.3%	9	青梅信金	647	3.6%	9	三井住友	738	3.4%	9	みずほ	135	1.4%
10	川口信金	337	2.4%	10	巣鴨信金	328	1.8%	10	巣鴨信金	701	3.2%	10	三井住友	110	1.2%
東部合計		13,879	—	西部合計		18,214	—	南部合計		21,651	—	北部合計		9,556	—

5. まとめ

例年同様、埼玉県内企業のメインバンクは、埼玉りそな、武蔵野、埼玉縣信用金庫がトップ3を維持する形となり、業種別や売り上げ規模別をみても、この3行の存在感は非常に大きい。加えて今回の調査で注目したいのは、このトップ3の勢いは全国的にみても目立っている点で「全国「メインバンク」動向調査(2024)より」。

全国におけるメインバンクの社数として1000社以上を有する金融機関のうち、前回調査(2023年10月)からの増加社数(純増)ランキングをみると、埼玉りそな(前年比+262社、1位)、武蔵野(同+224社、4位)、埼玉縣信金(同+163社、7位)と、トップ10にこの3行がランクインした。有望市場として名高い埼玉県のマーケットでは、メガバンクをはじめ県外勢力の進出は積極的であるものの、県内有力行の伸びは全国トップクラスであったことを示す格好となった。

アフターコロナ時代、様々な面で変化を迫られる金融機関であるが、埼玉県内のメインバンクの情勢はこの3行を中心に今後さらなる厳しい競争が予想される。

前年からの増加社数上位10行

2024年調査				2023年調査	
順位	金融機関名	社数	メイン社数	メイン社数	
1	埼玉りそな	+262	17,898	17,636	
2	肥後	+242	12,755	12,513	
3	大阪信金	+228	5,697	5,469	
4	武蔵野	+224	8,051	7,827	
5	鹿児島	+186	9,946	9,760	
6	Paypay	+165	1,139	974	
7	埼玉縣信金	+163	6,735	6,572	
8	楽天	+157	1,368	1,211	
9	愛知	+145	6,467	6,322	
10	大阪シティ信金	+144	7,280	7,136	

【注】2024年次展でメインバンク社数が1,000社を超える金融機関が対象

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 大宮支店 情報部 丸山 梅林
TEL 048-643-2080 FAX 048-645-7578

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。